

中種子町子供の移動経路／通学路等
交通安全プログラム

～子供の移動経路／通学路等の安全確保に関する取組の方針～

令和3年3月

中種子町子供の移動経路／通学路等の安全推進会議

1 プログラムの目的

平成24年に全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、以降、着実かつ効果的に対策を推進するために、関係機関の連携体制において、「中種子町通学路交通安全プログラム」を策定して、これに基づき、通学路の交通安全対策を実施してきました。

また、通学路に加えて令和元年には、未就学児等が日常的に移動する経路等に関し、関係者が連携して緊急合同点検を実施したところです。

二つの取組に基づき、交通安全対策の効果を高め、効率よく実行していくため、「中種子町通学路交通安全プログラム」を踏襲しつつ、上述の未就学児の移動経路に係る交通安全対策を一体的に推進する、「中種子町子供の移動経路／通学路等交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、本プログラムに基づき、関係者が連携して、地域の子供の移動経路の安全確保を図っていきます。

2 子供の移動経路／通学路等の安全推進会議の設置

関係機関の連携を図るため、以下をメンバーとする「子供の移動経路／通学路等の安全推進会議」を設置しました。

本プログラムは、その他の関係者等の意見も聴きつつ、この会議で策定しました。

- ・ 中種子町教育委員会
- ・ 中種子町建設課
- ・ 種子島警察署
- ・ 中種子町福祉環境課
- ・ 中種子町総務課
- ・ 県熊毛支庁建設課

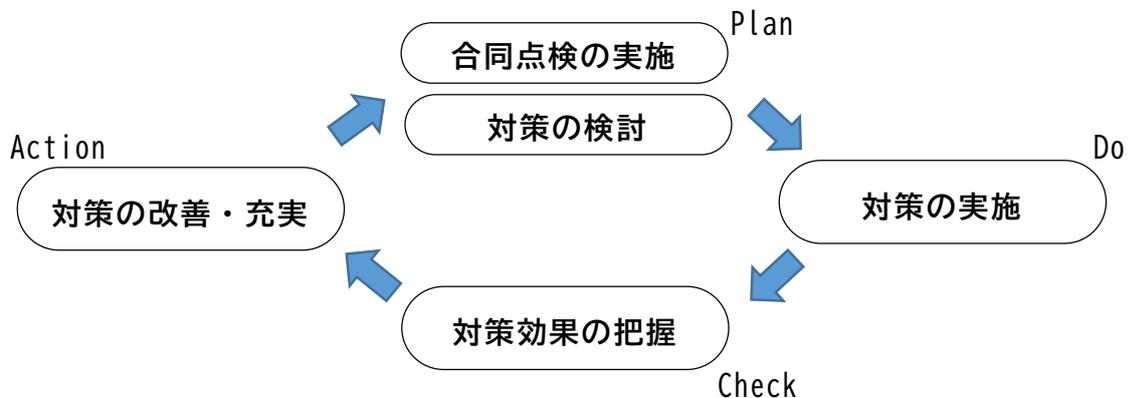
3 取組方針

(1) 基本的な考え方

継続的に子供の移動経路／通学路等の安全を確保するため、緊急合同点検後も合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善・充実を行います。

これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、子供の移動経路／通学路等の安全性の向上を図っていきます。

[子供の移動経路／通学路等安全確保のためのP D C Aサイクル]



(2) 定期的な合同点検

○ 合同点検の実施時期等

- ・必要に応じ問題箇所の合同点検を実施します。(年に1回)
- ・効率的・効果的に合同点検を行うため、各学校及び近隣の未就学児関係施設は、事前に問題箇所を把握し、子供の移動経路／通学路等安全推進会議に報告します。
- ・子供の移動経路／通学路等安全推進会議は、学校及び近隣の未就学児関係施設からの報告をふまえ重点箇所を設定し、合同点検を実施します。
- ・実施時期は、7月とします。

○ 合同点検の体制

- ・推進協議会のメンバーと、必要に応じて問題箇所の当該学校長及びP T A役員、未就学児施設関係者、自治体の役員等で点検します。

(3) 対策の検討

- ・合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、箇所ごとに、歩道整備や防護柵設置のようなハード対策や交通規制や交通安全教育のようなソフト対策など対策必要箇所に応じて具体的な実施メニューを検討します。

(4) 対策の実施

- ・対策の実施にあたっては、対策が円滑に進むよう、関係者間で連携を図ります。

(5) 対策効果の把握

- ・ 合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また児童生徒等が安全になったと感じているのか等を確認するため、学校及び未就学児関係施設は、児童・生徒及び保護者から改善の効果等について集約し、その対策効果を安全推進会議に報告します。

(6) 対策の改善・充実

- ・ 対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図ります。

4 箇所図，箇所一覧表の公表

- ・ 学校ごとの点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するために小学校ごとの「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し、公表します。

【別添資料】

別添① 対策一覧表

別添② 対策箇所図